

# 我が家への家庭教育

篠本一区 青柳 美佐子

「我が家への家庭教育」ということです。が、特に何も教育していない我が家ではともかく、夫婦仲良く、親子仲良く明るい家庭であれば、子供はまことに育つてくられるのではないかと甘い期待をもつてしています。

わざの大人達がきちんとした生活をしていれば、その中から自然と学びとつてくれると言っています。朝、起きたら自分の方から、「おはよう、ごきげんいかが?」と声をかけ、出かける時は玄関まで出て行き、「いってらっしゃい、気をつけ」と送り出し、帰宅すれば、「お帰り」と声をかけます。毎日、それをくり返していると、こちらが言うまえに「おはよう」、「行つてきます」、「ただいま」のあいさつが自然に出来るようになります。

また、家族で外出した時は、社会のルールを守るよう気をつけています。ゴミはゴミ入れに、空き缶は空き缶入れに捨てるのが当然ですが守られていないのが現状です。

先日、子供会で親子一緒に空き缶拾いました。それが習慣になつて、家庭外でもよその人にあいさつが出来るようになります。

シリーズ (16)

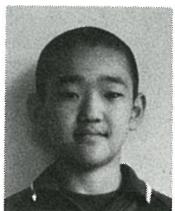


山の海 木々の枯れ葉が 波たまり



2年 新井 孝志

あじさいの 色美しき雨の中  
雨がさ持ちて 子供待つ母



2年 椎名 一哉

梅桜つつじ菖蒲と咲き次ぎて

石庭いよよ初夏を整ふ

山崎平八郎

雨降りて鳥驚闇はす暮友もなく  
部屋にこもりて歌など記す

伊藤 定男

一時の大雨に水路吐き切れず

青田忽ち白波のたつ

鈴木甲子幸

表情と手振り忙しく織りなして

若き聾啞者語らいつきず

越川 雪枝

吾が衣引き仕草に示す病む父に

ペン握らせつつ涙こみ上ぐ

椎名 静子

生きるため飢と疲れの旅続け

難民の肌は骨にくいこむ

大木 静波子

さみどりに花より育つ紫陽花の  
今朝ほのかなる藍に爆ぜ咲く  
鶴を舞ふ師はさながらに鶴となり  
雲の彼方へ飛び発たむがに

竹内 紀葉  
伊藤 鏡子

## 郵便局からお願ひ

郵便局では暑中見舞用絵入り  
はがき二種類を六月十五日から  
発売しています。  
暑中見舞に、家族の近況を伝  
える便り用として、是非、ご利用  
ください。

また、特産品を郵便小包で产地  
から直送いたします。贈り物  
としてもご利用ください。

空地や河川敷などにゴミが捨てられています。  
不法投棄しないよう、ご協力を  
をお願いします。

